

懺悔の功德の力

普泉寺住職 小山 貴大

然（しか）あれば、誠心（じょうしん）を専らにして前仏（ぜんぶつ）に懺悔すべし。慙懣（いんも）するとき前仏懺悔の功德力（くどくりき）我を拯（すく）いて清浄ならしむ、此（この）功德能（よ）く無礙（むげ）の淨信（じょうしん）精進を生長（しょうちょう）せしむるなり。淨信一現（いちげん）するとき、自他（じた）同じく転ぜられるなり、其（その）利益（りやく）普（あまね）く情非情に蒙（ごう）ぶらしむ。

現代語訳

そうであるから、誠心誠意(眼前の)仏に、過去に犯した罪を告白し許しを乞い懺悔すべきである。そのようにするとき、仏におこなった懺悔の功德の力が、私を救って、私を清らかにしてくれる。この功德(善い行い)はよく、妨げのない純粋な清らかな信心や仏道修行の努力を生み、育んでくれる。清らかな信心がひとたび実現すれば、私も他人と同じく、仏道を修行するように促される。その利益はすべての命あるものにも命なきものにも及ぶのである。

田中良盛著 修証義の教え より引用